小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	豊立会	代表者	鈴木　俊孝
事業所名	まんざきの家玲光苑	管理者	鈴木　俊孝

法人・事業所の特徴	日々笑顔にあふれたアットホームな雰囲気の施設です。通いであっても自宅へ送ったら支援が終わりではなく、24時間ご利用者様の状況を把握して、必要な介護が出来るように支援しております。また、宿泊や訪問の支援も顔なじみの職員が支援しており、関係も深まり安心へと繋がっています。またご家族様と、情報を共有することでご利用者様の最適な支援へと繋げ、季節に合わせたイベントや外出行事も多く楽しみのある施設となっています。ご利用者様からの意見を取り入れ、活動に活かし、一人ひとりに合わせた日常生活動作の向上が図れるように支援をしております。朝の訪問支援や夕食を食べてからの送迎、急な宿泊の対応など可能な限り柔軟に対応して、独居の方の支援や、ご家族様の介護負担の軽減を図れるように努めております。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	本年度は職員の外部研修への参加と小規模会議内での研修も行う。そして、研修参加による知識、技術の向上を図る。また、小規模会議にて職員間の意見を行うことにより、より良いサービスの向上に繋げていく。	外部研修は参加可能な職員にて参加、小規模会議内での研修も行っている。大きな変化とは行かないが知識の提供場所となっている。会議の際は、職員からの意見交換も積極的に行えている。	「できていない点」「その理由」を踏まえて改善計画を更新しなくては。形成的評価であるべきでは。(分からない、出来ない意見を明確に)意見のもとで目標の更新を行ってはどうか。悉皆ではなく、評価項目を各自選択すると良いのでは。	朝礼又会議等にて、日々の業務内にて出来ていない点やその理由を明確にし、問題に対して協議と改善に向けて取り組んでいく。そして、引き続き職員との個別面談にて色々な意見を吸い上げていく。
B．事業所のしつらえ・環境	事業所敷地内や周辺の環境整備を月に予定にて実施日を決めて行い、事業所内の環境　整備を進める。	事業所内外の環境整備については、業務内にて行うことが出来ており、現状の環境を維持出来ている。	館外の草取りや植物などの手入れが良くされている。又館内も常に清潔が保たれている。	引き続き業務内で行うが、草刈りについては、防草シートや除草剤等で少しでも職員の負担へ減らしながら効率いい方法で綺麗に管理して行く
C．事業所と地域のかかわり	地域行事へ職員又ご利用者が可能な限り参加することで。地域の方々との更なる関わりを持ち地域の発信の機械とする。	今年度前半は、感染予防の関係から職員、ご利用者様共に地域行事へは少人数で参加させて頂き地域交流の場となっていた。		地域資源の活用、地域行事の参加、近隣散歩にて、ご利用者様が地域住民との接点又交流し関係構築を図っていく
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	通いや訪問サービス提供の際、ご家族や近隣住民の方々と関わりを持ちご本人の困りごとの把握や情報収集の場としていく。そして、地域包括支援センター又市町村と情報を共有していく。	ご家族様との接点はあり、多くの意見を伺えており、包括支援センターとも情報交換を多く行っている。ただ、感染予防の関係から,機械が少なく近隣の方々との交流は少ないのが現状となってしまった。		地域の方々に事業所を知って頂く場面作りとして、地域行事参加又近隣散歩にて地域住民との接点又交流を増やしながら関係を構築、事業所の役割を理解して頂きながら、相談出来る場であることを広めていく。
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議については、感染防止対策のもと対面会議での開催、そして、委員の方々に施設をご覧頂き、意見を伺いながら施設運営に生かしていく。	運営推進会議内にて、ムービーにて施設の様子又はご利用者様にご参加頂いての意見交換を行えている。会議内にて委員の方々の貴重な意見も職員又業務へ反映させて頂いている。	パワーポイントなどで日々の様子の紹介やご利用者の参加による生の声など事業所の取り組みが分かりやすく説明され温かみが伝わってきた。 会議にお茶やお菓子は不要、参加者がマイボトルを用意してはどうか。	運営推進会議にて委員の方々に貴重なご意見を伺い、そして、意見交換又評価をして頂きながら良い施設運営に向け生かしていく。

F．事業所の 防災・災害対策	事業継続計画に沿って、地域の方々と共同した防災訓練を実施する。	本年度も運営推進会議内にて、委員の方々の協力のもと合同で消防避難訓練を実施することが出来た。	地震・災害時の事業継続計画に関して地域との連携体制の検討をすすめては(通所者が避難して来た時等を想定して) 徘徊行方不明者発生時の「地域住民、関係機関の連携」は出来ていますか。	引き続き委員の方々に事業所の避難訓練へ参加して頂きながら、地域の方々と連携した取り組みが出来るように提案又実施へと進めていく。